

いしべっ子

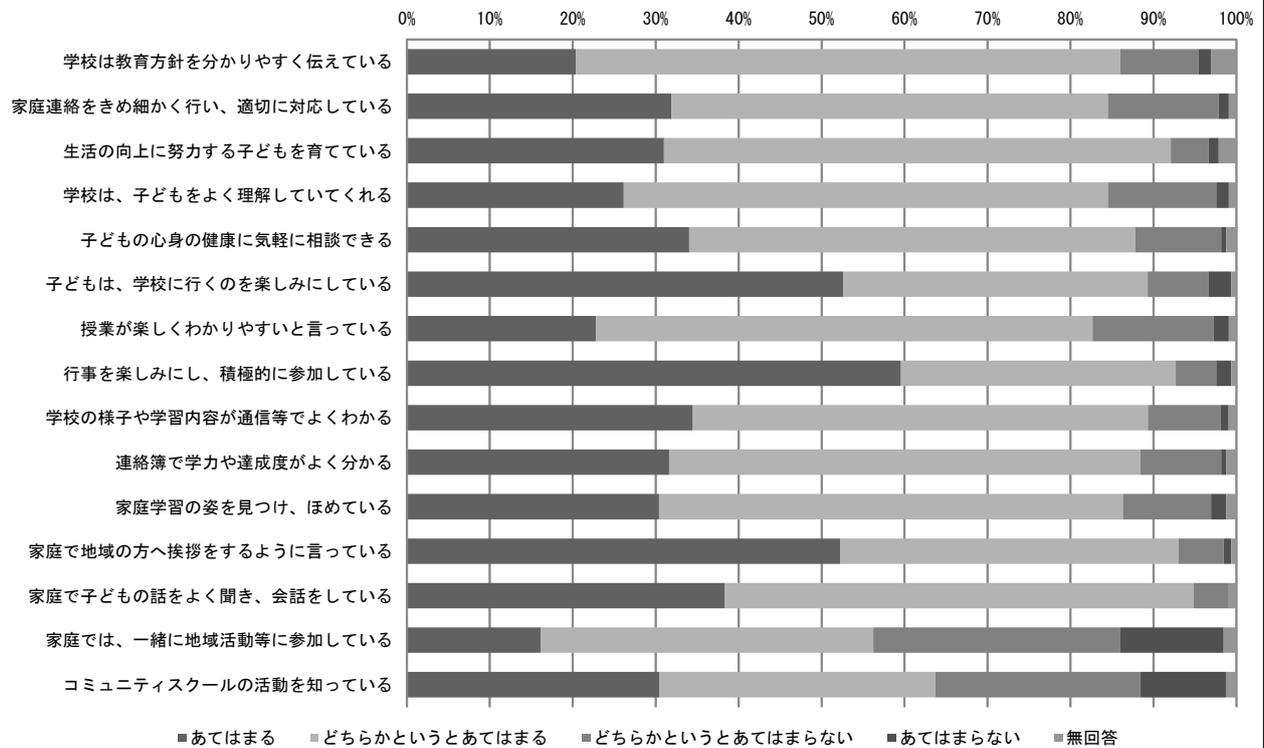
電話: 77-2030
Fax: 77-6733

立春を過ぎましたが、今年はまだまだ雪が多く、寒い日が続いています。しかし、季節は一進一退を繰り返しながらも、確実に「春」に近づいています。

平成28年度も残すところ一月余りとなりました。本年度の締めくくりがしっかりとできるように、教職員一同気持ちを引き締めて頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

平成28年度の学校評価（保護者評価）の結果について 回収率90.4%

平成28年度 学校生活についてのアンケート結果



保護者の皆様のご協力を得て実施いたしました学校評価の結果が出ましたので、お知らせいたします。判断の基準としては、従来のおり、A・B合わせて80%以上あれば一定の評価をいただいているものと考えています。昨年度と比べてみますと、昨年度、A・B合わせて80%に満たなかった項目は、「子どもと一緒に地域活動に参加している」「コミュニティー・スクール（以下CS）の取り組みを知っている」でした。

今年度「CSの取り組みを知っている」についての肯定的評価は63.7%であり、昨年度より10.9ポイント上昇しました。土曜日や夏休みの学習教室、通学路の見守り活動、米づくりなどの体験活動を地域の皆さんが行っていただいた結果だと思えます。「子どもと一緒に地域活動に参加している」項目も少しではありますが、上昇しています。全体を見ると昨年と比べ悪くなった項目も少しありますが、一定の評価はいただいていると考えています。しかし、来年度は、全ての項目が良くなるように取り組んでいきたいと考えていますので、保護者・地域の皆様には、来年度もご理解ご協力をお願いいたします。学校・保護者・地域の三者がCSを生かして、石部小学校の子どもたちを健やかに育てていきたいと思えます。

スキー教室を開催しました

2月3日（金）6名のボランティアの皆さんにお世話になり、奥伊吹スキー場でスキー教室を開催しました。

昨年度より6年生のみの実施になっています。昨年は、フローティングスクールの日程と重なってしまい実施できなかったため、初めてスキーをする子どもたちもたくさんいました。朝は、小雨が降るような天気でしたが、スキー場に着くととてもいい天気でした。

天候に恵まれ、予定どおり実習の開始、慣れない靴やスキー板に、始めは悪戦苦闘していた子どもたちも時間が経つにつれ、滑る感覚をつかみ、気持ち良く滑って行く子が増えてきました。でも、斜面を登るのは大変で、すぐに休憩してしまう子どももいました。午後は、トンネル（動く歩道）に乗って200mぐらい上の斜面から滑り始める班が多くなりました。帰る頃には、ボーゲン（ハの字形にスキーを開いて滑る方法）で自由に曲がりながら滑っていました。子どもたちは大満足で、ケガをする子どもも無く、全員無事に帰ってきました。スキーの楽しさを味わえた一日でした。これからの生涯体育に結びつけて欲しいものです。



保幼小交流会、5・5交流、昔遊び交流を開催しました

1月24日（火）に4月から入学してくる石部保育園・石部幼稚園の5歳児さんと1年生・5年生がそれぞれ交流をしました。26日（木）には、「湖南っこ」と1年生が昔遊びの交流をしました。保育園や幼稚園の園児には、1年生が折り紙やコマ回しの遊びを教えたり、5年生が国語や算数を教えてあげたりして4月からの学校に慣れるようにしていました。

「湖南っこ」さんには、1年生がわりばし鉄砲や福笑い、昔のカルタ、おはじき、お手玉、紙てっぽう、けん玉などを教えていただき楽しく交流しました。



おり紙



昔のカルタ



けん玉



おはじき、お手玉

天国にいった孔雀の「クック」

去る2月2日（木）お昼頃、職員がクックの様子を見ようと飼育小屋を覗くと、見当たりません。奥の方を見ると、クックが地面に横たわっていました。眠っているのかな？と急いで確認すると体はもう動きませんでした。鳥インフルエンザの疑いもあるので、県家畜保健衛生所にも電話をして確認したのですが、孔雀は対象ではないということでした。ずいぶん高齢だったので亡くなってしまったのでしょうか。そこで、お墓を作り、丁寧に埋葬しました。子どもたちも悲しみ、多くの子どもたちがお墓にお参りに行きました。

誰よりも長い間、石部小学校を見守り、石小のマスコットとして愛された「クック」のご冥福を心からお祈りしたいと思います。「合掌」

